

防犯ボランティア 活動のしおり

みんなで作ろう 安心の街



(公財)茨城県防犯協会
茨城県警察本部

防犯ボランティア団体などの住民パワーが 犯罪抑止に大きな力を発揮!

防犯ボランティア団体などの活動が県内各地で活発に行われ、地域での犯罪抑止と犯罪の起きにくい街づくりに大きく貢献しています。

活動の多くは、地域住民の皆さんによる徒歩でのパトロールです。「自分たちのまちは自分たちで守る」という自主防犯意識があれば誰でも参加できる活動です。

パトロール中に人に会ったら誰にでもあいさつをし、街や人の様子を注意深く見て歩くことにより、防犯に役立つ事柄が見えてきて、改善を要する箇所の発見や不審者、犯罪を企てている者を地域から追い出すこともできるはずです。

過去に行った調査結果によれば、泥棒などが犯行を諦めた理由の第1位が「近所の人に見られたり、声をかけられたから」でした。「どちらにご用ですか」などと地域の方々から声をかけられるのが、犯罪者にとっては一番いやなのです。

こうした活動を通じて地域の連帯が進めば、地域から犯罪を減らすことができるのです。

各地で行われている防犯ボランティア団体などの活動により、犯罪防止に効果のある地域コミュニティーが再生され始めています。犯罪の発生を抑止するには、地域住民の方々の力が何よりも必要です。

目次

防犯ボランティア団体の立ち上げ方……………	4
防犯パトロールのイメージ……………	5
防犯パトロールの必需品……………	6
防犯パトロールの注意事項……………	7
防犯パトロールの方法……………	8
防犯パトロールの着眼点……………	10
防犯パトロールQ & A……………	12
紹介 ～ながら見守り～ ……………	14
紹介 ～青色防犯パトロール～ ……………	14
ホームページの紹介……………	14
防犯豆知識……………	15

防犯ボランティア活動の目的

- 防犯ボランティア活動の目的は、
- 事件・事故・災害の被害を未然に防止すること
 - 地域の皆さんが安全に対する関心を高めること
 - 地域の連帯感を醸成すること
 - 地域の犯罪抑止機能を高めることにあります。

防犯ボランティア団体の立ち上げ方

有志を募りましょう

自治会・PTA・会社など、地域に居住する方や勤務する方で、パトロールのできる方を募集しましょう。

リーダーを決めましょう

有志の方が集まったら、パトロールを効果的に推進するため、推進責任者や副責任者（リーダー・サブリーダー）を決めましょう。

パトロール方法を決めましょう

リーダーを中心に、どのような方法でパトロールするか話し合しましょう。

交番・駐在所などからの情報を参考にしましょう

地域を管轄する交番・駐在所、警察署が発信する犯罪の発生状況や危険な場所などの情報をパトロールの参考にしましょう。

パトロールの開始を知らせましょう

パトロールの開始が決まったら、具体的にどのようなパトロールをするか、回覧板を利用するなどして地域の皆さんに知らせましょう。

また、管轄の交番・駐在所、警察署にも知らせましょう。

防犯パトロールのイメージ

気楽に！

気負わず、肩肘を張らず、日常生活の一部として気楽にやりましょう。

気長に！

短期間では、パトロールの効果は表れないものです。

気長に続ければ、やがて気づかぬうちに防犯の輪が広がり、犯罪の起きにくい環境が醸成され、犯罪の発生が減少していきます。

危険なく！

せっかくパトロールをしても、事故にあったり怪我をしたのでは、継続することが難しくなってしまいます。危険なことをする必要はありません。



防犯パトロールの必需品

携帯電話

緊急時の通報や仲間同士の連絡などのため、携行しましょう。

メモ帳

危険な場所や不審な車の特徴などをメモしましょう。通報する際や他の人に伝える時などに役立ちます。



日誌

注意する場所などを次の人へ引き継げるように、日誌を作成しましょう。

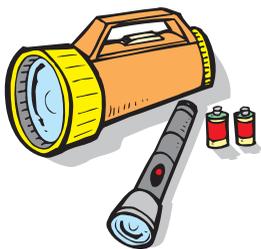
反射材など

夕暮れ時以降は、歩行者が車からは見えにくい状態になりますので、事故防止のために、できるだけ反射材のついた衣服等を着用しましょう。

タスキや腕章

パトロールをしているということが見て分かるように「パトロール中」などと記載されたタスキや腕章などを着用しましょう。

- * 目立つように揃いの帽子や蛍光色のジャンパーを着てパトロールをすると、更に効果的です。



懐中電灯

夜間パトロールの際は、危険回避のために、懐中電灯を携行しましょう。

- * 停止棒型の青色灯や赤色灯を活用しているところもあります。また鈴の音などでパトロール中であることを知らせることも効果的です。

防犯パトロールの注意事項

危険なことはせずに早めに通報を!

パトロール中に不審者を発見したら、直ちに警察へ通報しましょう。

不審な車を発見したらナンバーや特徴をチェックして、その車が逃げても追跡などせずに警察へ通報しましょう。

事件を目撃したら、直ちに110番通報しましょう。

※110番のかけ方

携帯電話、固定電話、公衆電話のいずれからでも、「110」を押すことにより110番通報を受理する「警察本部通信指令課」につながります。

通報を受けた警察官は次のような点について順を追って聞きますので、落ち着いて話しましょう。

- ・ 何があったのか
- ・ いつ
- ・ どこで（目標物などがあれば教えてください。
電柱番号でも場所がわかります。）
- ・ 犯人・不審者は（性別、人相、服装、車両、
逃走方向）
- ・ 被害状況は
- ・ 通報者であるあなたの名前など



交通事故に注意!

徒歩パトロール時には、反射材や懐中電灯などを活用し、運転者から目立つようにするなど、交通事故には十分注意しましょう。

プライバシーを尊重し、秘密を守る!

誰もが自分の家庭のことは干渉されたくないものです。パトロール中に知り得た他人のプライバシーは保護しましょう。

分からないことがあれば?

パトロール上の注意点や地域で発生している犯罪を防ぐための方策など、分からないことがあれば、地元の交番・駐在所又は警察署生活安全課（係）に相談しましょう。

BOUHAN



防犯パトロールの方法

防犯パトロールは、皆さんが主体となって行うものです。
ここに書いた方法は、一例ですので、皆さんがお住まいの地域に合った方法でパトロールしましょう。

複数で!

2人以上の複数でパトロールしましょう。

多くの目で見ることにより、より多くの危険箇所などを発見できます。また、不審な車を発見したときには、1人はナンバー、1人は車の特徴、1人は運転手の特徴と、役割を決めて覚えるようにすれば、きめ細かく確認できます。



徒歩で!

街頭で犯罪被害にあう方の多くは、徒歩や自転車です。

同じ視点で見ることによって、犯罪にあいそうな場所や危険な場所などを知らることができ、注意喚起に役立ちます。

危険な場所などの確認結果から、防犯カメラや防犯灯の設置を要望する際などにも役立ちます。



声かけを!

声かけといっても「おはようございます」や「こんばんは」といった挨拶だけでも十分です。
地域の皆さんが声をかけ合うことにより、地域の連帯感が醸成されます。

犯罪者は、声をかけられることを嫌います。

毎日欠かさずに!

パトロールは、毎日継続することに意味があります。

夕方や夜間だけではなく、朝や昼間のパトロールも大変有効です。

皆さんの姿が頻繁に見えるほど、犯罪者は嫌なものです。

できる範囲で!

無理をせず、皆さんのできる範囲（時間帯・場所）でパトロールしましょう。何事も苦痛になったのでは長続きしないものです。

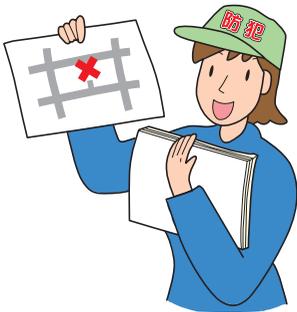
朝の散歩や犬の運動をする際、仲間を誘って2～3人で「パトロール中」のタスキをかければ、立派な防犯パトロールです！

（「ながら見守り」～P 14参照）



パトロール後に情報交換を!

ただパトロールをするだけでなく、パトロールの結果について情報交換することにより、危険な場所の改善、子供やお年寄りへの注意喚起など、犯罪の起きにくい地域づくりに役立ちます。



広報活動を!

パトロールを実施することはもちろん、パトロールの結果から分かった危険な場所などについて注意喚起することも重要です。

パトロールから知り得た危険な場所や注意する場所などを地図に示した「地域安全マップ」を作成して地域の方へ配布すれば、犯罪や事故の抑止に効果があります。

「いばらきデジタルまっぷ」では、市町村犯罪マップ、不審者などの情報を公開しています。茨城県警察ホームページからアクセスすることもできますので、パトロールの前に確認してみたいはいかがでしょうか。

ひばりくん防犯メール（登録は無料）

※パケット通信料はかかります。



登録方法

- ◆次の登録用のメールアドレスにアクセスしてください。
「add@mail1.police.pref.ibaraki.jp」
画面の案内に従って登録してください。
- ◆バーコードリーダー機能付きの携帯電話なら右の登録用「QRコード」を読み取れば、より簡単にアクセスできます。



防犯パトロールの着眼点

パトロールを通じて、安全を確保するとともに、地域の環境をもう一度見直しましょう。

パトロールで確認した事件や事故が発生する危険性が高い場所などは、地域ぐるみで働きかけをして改善していきましょう。

犯罪の起きにくい環境をつくることが何より必要です。

防犯カメラや防犯灯の故障や整備が必要な場所はないか

暗い道路は、ちかんなどが発生するおそれがあります。

防犯カメラや防犯灯の故障や整備が必要な場所を把握したときは、自治体などに働きかけましょう。



不良少年のたまり場となっている場所はないか

公園や店先など、不良少年のたまり場になっているところがあると、そこから非行が広がって行きます。

落書きがあれば皆で消したり、パトロールをしている姿を見せるだけでも効果があります。



見慣れない人・車はないか

見慣れない人や車に不自然な動きがあるようなときは、警察に連絡したり、メモしておくことが大切です。

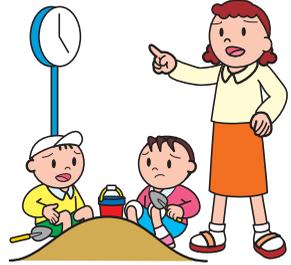


公園などの遊び場に異常はないか

放課後、子供たちが安心して遊べるよう、警戒が必要です。

夕暮れ時に子供が遊んでいたら、帰宅を促しましょう。

また、公園、通学路などの見通しを良くするために雑草の除去、枝払いをすることも効果があります。



水難事故が発生するおそれはないか

河川・用水・湖沼など、水難事故などが発生するおそれのある場所を確認し、改善を働きかけましょう。

危険な遊びをしている子供には、声をかけましょう。

留守宅に不審な人や車はないか

新聞受けに数日分の新聞がたまっているなど、明らかに留守にしていることが分かる家などの付近に、不審者(車)がないかななどにも関心を持って注目しましょう。

廃屋、空き家などに異常はないか

廃屋や空き家などは、犯罪の温床となりやすい場所です。また、放火されたり、不良少年のたまり場となるおそれもあります。管理者などへ改善の働きかけをしましょう。





&



Q 大きな負担になりませんか？

A たくさんの方々が参加することにより、一人ひとりの負担は減少します。
パトロール従事者が20人いれば3人1組で毎日巡ったとしても1人当たりでは週約1回、100人確保できれば月約1回で足ります。

Q パトロールはしおりに書かれているとおりにしなければいけないのですか？

A あくまでも地域住民による自主的な活動ですので、地域の実情やメンバーに合わせた方法で実施しましょう。

Q 危険ではないですか？

A 危険なことをしないように心がければ、危険はありません。
不審者や不審な車を発見した時、少年のたまり場を発見した時などは、声をかけたり、近寄ったりせずに警察に通報しましょう。

事件・事故を目撃した際は、直ちに110番通報しましょう。
また、夕方から夜間の活動では、反射材を活用するなどして、交通事故に十分気をつけましょう。

Q あいさつや声かけなどの簡単なことをするだけで、効果があるのですか？

A これから悪いことをしようという人は、声をかけられることで出鼻をくじかれたり、顔を見られたことで犯罪を思いとどまったり、立ち去ったりするので、犯罪の抑止に大変効果があります。

この活動が定着することにより、広く地域全体が顔見知りとなり、たとえ、悪いことをしようとする気持ちのある人がいたとしても、悪いことはできなくなります。

Q 県内にある他の防犯ボランティア団体はどのような活動をしているのですか？

A 茨城県警察ホームページ内の「自主防犯活動についての紹介」をご覧ください。

Q 腕章などはどうするのですか？

A 「地域の安全は地域で守る」ことを基本とし、誇りを持ってパトロールするため、それぞれの地域独自のシンボルとして、帽子や腕章、タスキなどを作ってみてはいかがでしょうか。

腕章やタスキを着用することで、パトロール中であることが地域のみなさんにアピールできます。

Q 昼間のパトロールは効果があるのですか？

A 犯罪は、24時間発生しています。

特に、空き巣は昼前後に多く発生しています。

昼間のパトロールも犯罪抑止に大変有効です。

Q 活動を長続きさせる方法がありますか？

A 無理のない計画、方法で活動することが一番です。

また、多くの住民が参加できる活動内容を設定することもポイントです。

Q 活動の必需品や防犯グッズはどこで入手できますか？

A 帽子、腕章、タスキや夜間パトロール中に活用する蛍光チョッキや防犯ホイッスルなどの必需品、防犯ブザー、ひたたくり防止ネットなどの防犯グッズは防犯協会で斡旋しています。茨城県防犯協会又は警察署生活安全課(係)に問い合わせましょう。

Q 活動をするためには何人くらい集めなければならないのですか？

A 人数に制限はありません。5人でも10人でも結構です。出来ることから始めることと活動を続けることが大切です。あなたの活動に共感した人が次第に集まってくるものです。

BOUHAN

紹介 ～ながら見守り～

「ながら見守り」とは、地域の皆さんが、日常生活の中で、ウォーキングやジョギング、買い物、犬の散歩、花の水やり等を行う際や、事業所の皆さんが配達等の日常の事業活動を行う際に、防犯の視点を持って子供達を見守る活動のことをいいます。

家の外で子供達が犯罪被害に遭うのは、登下校時、特に下校時間帯に集中している傾向にあります。一人でも多くの方が「地域の目」として「ながら見守り」に参加してください。

紹介 ～青色防犯パトロール～

「青色防犯パトロール」とは、自動車に青色回転灯を装備して、専ら地域の防犯のために自主的に行うパトロールをいいます。

平成30年末現在、茨城県内では、217団体、約1100台がパトロールを行っています。

一般の自動車に回転灯を装備することは法令で禁止されていますが、警察本部長から自主防犯パトロールを適正に行うことができるとの証明を受けた団体は、自動車への青色回転灯の装備が認められています。

詳しくは、茨城県警察ホームページをご覧ください。最寄りの警察署の生活安全課（係）にお問い合わせください。



ホームページの紹介

(公財)茨城県防犯協会 <http://www.geocities.jp/ibarakibohan/>
茨城県警察本部 <http://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/index.html>
警察庁自主防犯ボランティア活動支援サイト
<http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki55/index.html>

防犯豆知識

住宅侵入窃盗

被害を防止するための対策

- 出入口や窓の確実な施錠
 - ・ 短時間の外出や就寝時にも、家の鍵を掛ける習慣をつけましょう。
- 窓やサッシ等への防犯設備の設置
 - ・ 防犯性能の高いCPマークが添付されたサッシ窓、ドア、シャッター、防犯ガラスや補強フィルム、補助錠等防犯性の高い器具等を設置しましょう。
- 敷地への防犯対策
 - ・ 敷地内には音の出る防犯砂利やセンサーライト、警報器等を設置しましょう。

自動車盗

被害車両のほとんどがエンジンキーを抜いているにも関わらず被害に遭っています。

※ 愛車を守るポイント

- イモビライザーの装着
- 車を離れる際のドアロック
- 盗難防止機器の活用
- 貴重品の置きっ放し厳禁
- 自動車部品にも盗難防止対策
- 安全な駐車場選び

ニセ電話詐欺

～こんな電話やメール、ハガキの内容は詐欺です～

- | | |
|----------------------------|----------|
| 「キャッシュカードをあずかる」「暗証番号を教えて」 | 【オレオレ詐欺】 |
| 「携帯電話番号がかわった」「すぐにお金が必要」 | 【オレオレ詐欺】 |
| 「会社の同僚（上司・部下）、弁護士にお金をわたして」 | 【オレオレ詐欺】 |
| 「有料サイトの未納料金がある」「裁判をおこす」 | 【架空請求詐欺】 |
| 「プリペイドカード型電子マネー・収納代行ではらえ」 | 【架空請求詐欺】 |
| 「名義貸しは犯罪」「お金をはらえば解決」 | 【架空請求詐欺】 |
| 「レターパック・宅配便で現金送れ」 | 【架空請求詐欺】 |
| 「返金手続きのためATMを操作して」 | 【還付金詐欺】 |

BOUNTYMAN

みんなでつくろう 安心の街



防犯ボランティア活動のしおり

初版 平成16年5月
第二版 平成20年6月
第三版 平成31年2月

編集・発行者

(公財)茨城県防犯協会 029-303-5260

茨城県警察本部生活安全総務課

029-301-0110